

久保ゼミでは、授業前に指定された本を各自で読み、毎週3章ずつを担当してコメントやレジュメを作成します。授業ではそれらを基にゼミ生同士で議論を行い、各章の内容について理解を深めていきます。扱う書籍は、民主主義や選挙制度、比較政治などをテーマとしたものが中心で、専門的なことを学びながらも、日常のニュースや日本政治に結びつけて考えられる内容が多いのが特徴です。難しい書籍ばかりではないので、詳しくない方でも安心して参加できます。私自身、日本の選挙制度についてある程度知っているつもりでいましたが、実際に文献を読み議論を通じて学ぶうちに、制度の仕組みや課題について多くの新しい発見がありました。毎週のゼミでは、各自が意見を発表したり他のゼミ生の考えに質問したりと、主体的に参加できる雰囲気があります。発言の機会が多いため、人前で話す力や、自分の意見を整理して伝える力が自然と身につきます。4年生になると、卒業論文の作成に向けたサポートもしてもらえるようです。希望があれば、他のゼミやOBとの交流の機会もあるようです。

久保ゼミは少人数で落ち着いた雰囲気があり、先生はわからないことも丁寧に指導してくださいます。質問や相談がしやすく、安心して学べる環境が久保ゼミの良さだと思います。横山 鋭徳 (23JP1037)

久保先生のゼミについてご紹介します。このゼミでは、書籍の購読を通じて、現代における議会や政党について学習しています。担当者3名が各章をレジュメとしてまとめ、その他の人はコメントをまとめるという形式です。ゼミ生として学習する中で実感した、本ゼミの利点について3点ほどご説明します。1点目は政治について幅広い知識が身につくことです。書籍の購読を通じて、議会制度や選挙制度について学習することで広く政治学における基礎知識を身につけることができます。また、ゼミで身につけた知識は他の授業でも役立っていると思います。なので、政治についてもう一度基礎から学びたい人にとっては最適な環境だと思います。2点目は、学習スピードについてです。書籍の購読と言っても、1週間に3章ずつ読み進めていくため、確実に知識を身につけることができます。そして、毎週の課題もそこまで多くはないので、アルバイトやサークル活動などとも両立できます。自分のペースで学習したい人にとっては良い環境だと思います。3点目に文章構成能力やレジュメの作り方が身につくことです。ゼミのレジュメを作成することを通じて効果的なレジュメ作成の方法を身に付けることができたと思います。文章作成能力を身に付けたいと考える人にもおすすめのゼミとなっています。拙い文章でしたが、ゼミ選択の一助となれば幸いです。板倉慶 (23JP1055)

久保ゼミでは、予習として指定図書を読み、レジュメの作成やコメントの提出を行います。講義では、それらを基に先生がテーマや論点を提示し、議論を深めていく形式です。

ゼミ生の発言から新たな視点が生まれることも多く、先生や他のゼミ生の考え方に触れることで、自分の視野を広げる良い機会になっています。このゼミでは、政治学の知識を深めるだけでなく、考える力や自分の言葉で意見を述べる力を養うことができます。そのため、毎回の授業がとても有意義で、学びの充実を実感しています。また、他の講義で学んだ内容が指定図書や議論の中で再び登場することも多く、学びを再確認できる点も魅力です。人数は多くありませんが、その分一人ひとりに発言の機会が十分にあり、活発で密度の高い議論が行われています。ゼミを通じて学ぶことで現代政治への理解が深まり、政治により興味を持つだけでなく、将来にも役立つ学びが得られるゼミだと思います。ご参考までに。富嶋直樹（23JP1056）

久保ゼミでは政治学の基礎から応用まで段階的に学べます。授業では毎週指定された課題図書の章を読み担当者がレジュメを作成して発表し他の学生は一枚のコメントペーパーを提出して意見を交換します。発表準備とコメント作成を繰り返すことで読む力と書く力が育ち理解が深まります。他者のレジュメやコメントに触れることで自分にはない視点に出会い議論の幅が広がります。授業中は少人数で落ち着いた雰囲気の中互いに意見を言い合うことができます。久保先生は学生の発言を尊重しながら的確に問いを返してくださるため考えを洗練させる機会が得られます。ゼミでは選挙制度や議会制度など具体的な比較政治のテーマを扱うことが多く現実の制度と照らし合わせて考える訓練にもなります。授業の一環としてゼミ生同士でのディスカッションや賛否に分かれて議論する模擬討論を行うこともあり実践的な議論のスキルが身につきます。さらに SNS が選挙に与える影響など現代的なテーマも扱い幅広い関心に応える構成です。久保ゼミは知識を習得するだけでなく自分の考えを構築し他者に伝える力を養える学びの場です。福原悠輝（23jp1060）

このゼミでは主に日本の議会制度と選挙制度を世界各国と比較しながら理解を深めることに焦点を当てています。

授業は指定された本の各章のレジュメを毎週担当の人が準備し発表、そして各テーマについてゼミのみんなでディスカッションをしていきます。授業に臨む前に課題の本を読みレジュメやコメントの作成をしなければなりません、

本自体、最初は基礎的なものから扱っているのでは不安になることはないと思います。またレジュメ作成時や授業内でわからないことがあっても先生が優しくわかりやすく指導してくれるので安心して毎週の授業に臨むことができます。

僕は日本の選挙制度に興味を持っていたのでこのゼミに入りました。しかし今まで政治学の授業を真面目に取り組んでいなかったこともありほとんど知識がないままにゼミがスタートしましたが、毎週の課題や授業内でのディスカッションを通してある程度の知識を身に着けることができたし、今の日本の政治、選挙などを非常に高い関心をもって注目するまでになりました。

普段の大学の授業では体験、経験できないような学びがこの久保ゼミにはあります。新しい学びを得たい人、もう一步政治の世界に足を踏み入れたい人、なんも考えていないけどとりあえずゼミに入りたい人にも是非久保ゼミはおすすめしたいです。梅川峻 (23JP1105)

久保ゼミでは、指定された書籍を読み、それに関する討論を行います。毎週3章ずつ読み進め、3人の人がそれぞれ担当してレジュメを作り、発表を行います。それ以外の生徒は3章分の内容を読んで自分なりにコメントや意見を書きます。このゼミでは議会制度や選挙制度、比較政治学などを取り扱います。ゼミの名前から少し難しいように思われるかもしれませんが、政治の基礎から学ぶことができ、先生の的確なフィードバックにより、自分の考えを深めることができます。また自分の意見だけでなく、他者の意見を受け止め、議論をし、多様な価値観に触れ、新しい視点を得ることができます。私自身、政治に対する知識はあまり自信がないのですが、いろんな意見をくれるみんなと、真剣に向き合ってくれる先生のおかげで安心してゼミに参加できています。ゼミの雰囲気は、少人数のため落ち着いており、勉強をするにはとても良い環境だと思います。政治にはあまり関心がないけれどこれから学びたいと思っている人などは久保ゼミがおすすめのゼミだと思います。石井咲 (23JP1132)

本ゼミは、昔ながらの伝統的な形式を重んじた、少人数制の政治学ゼミである。毎回、指定された文献を丁寧に読み込み、要約を通じて内容の理解を深めたうえで、発表と議論を行う。単に知識を吸収するだけでなく、各自が自らの意見を持ち、他者の主張とぶつけ合うことを重視している点が大きな特徴である。議論の場では、異なる立場や価値観が交錯し、時に熱のこもった討論となることもある。しかし、まさにその対立構造の中にこそ、政治学の本質があるといえる。政治学は様々な事象が複雑に絡み合っ一つ大きな事象を形成している。そのため、これまでの2年間で培ってきた知識や理論が議論の中で思

わぬ形で結びつき、理解が一段深まる瞬間も多い。その積み重ねが、自らの考えを理論的に磨き上げる力へとつながっていく。はじめは疑問や意見を持ちそれを言語化することが難しく、自身の未熟さを痛感することになるが、討論を重ねるうちに、自分の価値観や理論的軸が徐々に確立され、政治学を「知る学問」から「考える学問」へと昇華させることができる。その過程には難しさもあるが、それ以上に学びの深化と喜びがある。深い知的探究と成長を求める学生にこそ、強く勧めたいゼミである。竹内聡汰（23JP1153）